

首都圏中央連絡自動車道 新利根川橋(鋼上部工)西工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	金抜設計書番号49 仮栈橋存置工A 特記仕様書22-12 工用仮栈橋工	金抜設計書では、仮栈橋存置工Aは、「6,720m ² ・月」となっており、覆工板の面積(420m ²)から考えますと、「16ヶ月」分が計上されていると推測されますが、特記仕様書では、仮栈橋存置工Aは、「17ヶ月」との記載となっています。「17ヶ月」分が計上されているのであれば、「7,140m ² ・月」になるのでは、と考えます。ご確認をお願いします。	仮栈橋存置工Aの設置期間は、特記仕様書22-12(2)4)に示すとおり設置開始から撤去完了までの期間です。なお、特記仕様書22-12(2)に示すとおり設置作業中の賃料は仮栈橋設置工A、撤去作業中の賃料は仮栈橋撤去工Aにそれぞれ含まれますので、設置・撤去の作業中を除く期間が仮栈橋存置工の設計数量となります。
2	割掛対象表参考内訳書 昇降足場費	全体:「401.6空m ³ 」と記載されており、その下段に、A1橋台からP30橋脚まで、各対象橋台・橋脚の数量が明示されていますが、合計しても、「401.6空m ³ 」になりません。ご確認をお願いします。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
3	設計図(445/498、446/498)	図面445/498、446/498について、図面目次では、「金江津一号幹線排水路仮栈橋 数量表(その1、その2)」となっていますが、そのページは、「大須賀低地排水路仮栈橋数量表(その1)、(その2)」となっています。(図面451/498、452/498と同内容になっています。)「金江津一号幹線排水路仮栈橋 数量表(その1、その2)」を、ご提示くださいますようお願いいたします。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。